

はこうらこう

箱浦港（三豊市管理地方港湾）

箱浦港は香川県西部、美しい自然と浦島伝説で知られる
庄内半島の先端に位置し、その名も浦島太郎が玉手箱を
開けた場所ということで箱浦と名付けられ、また、その煙
が紫の雲となったたなびいたのが、背後に控える紫雲出
山だと伝えられています。



本港は天然の良港であり、古くから海産物の集荷をは
じめ、蔬菜、薪炭等の補給港として、また冬期の季節風に
対する瀬戸内海航行船舶の避難港として知られてきまし
た。

施設の整備は大正年間に始まり、現在まで逐次整備が
進められています。

現在、本港は小型船の基地として利用されています。

